

■本多光太郎 物理学者(冶金学者)。永久磁石鋼KS鋼を発明するなど、新たな分野を開き、金属研究の祖となった。

ほんだこうたろう

初の日刊新聞1870＝ 三河国新堀村(愛知県岡崎市)で、農家本多丘三郎・さとの三男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：小学校尋常科を卒業し、高等科に進む。

国民之友始・1887＝17歳：上京し、

初の対等条約1888＝18歳：

帝国憲法発布1889＝19歳：第一高等中学に入学、

日清戦争始・1894＝24歳：卒業し、_東京帝国大学理科大学物理学科に進学、

白馬会・・・1896＝26歳：長岡半太郎から磁気の実験指導を受けるなどして、

八幡製鉄始・1897＝27歳：_物理学科を卒業し、大学院に進む。

子規句歌革新1898＝28歳：_長岡の指導で磁歪現象を研究し、初めての論文を発表。

田中正造直訴1901＝31歳：同校講師。田中三四郎と、中学校向けの物理教科書を執筆し刊行される。

教科書疑獄・1902＝32歳：*長岡の指導の下、「鋼,Ni,Co,Ni鋼の磁歪」を発表。以後、続々と磁性体に関する精力的な実験報告。

日比谷公園・1903＝33歳：東京帝国大学より_理学博士号。

日露戦争始・1904＝34歳：寺田寅彦と、熱海の間歇温泉、静振を研究。

日露戦争終・1905＝35歳：

満鉄発足・・・1906＝36歳：

韓国反日暴動1907＝37歳：_仙台に開設予定の東北帝国大学教授候補に選ばれて、ドイツに留学。

ドイツではゲッティンゲン大学のタンマンG. Tammannのもとで2元合金の磁性、ベルリンではデュボアH. DuBoisのもとで43種の元素単体の磁性とその温度変化についてそれぞれ研究した。

大逆事件判決1911＝41歳：*帰国後、ただちに新設の東北帝国大学理科大学教授となり、磁気分析、電気抵抗測定などの物理学的研究方法を活用した鉄鋼の状態図、変態、焼入硬化機構の研究、鉄属元素化合物の磁性の実験的研究を広範に行うとともに、磁性について分子磁石理論を追求した。その結果、セメントタイトのA0(磁気)変態点を確認し、鉄のA2変態が相変態ではなく磁気変態であることを確証して、β鉄論争に決着をつけ、

明治天皇没・1912＝42歳：{東北帝国大学理科報告}を創刊。

21ヶ条要求・1915＝45歳：熱天秤を開発。

民本主義・・・1916＝46歳：_学内に新設の臨時理化学研究所第2部の研究主任となり、高木弘の協力で強力な永久磁石鋼KS鋼を発明。

ロシア革命・1917＝47歳：「磁気と物質」、

本格政党内閣1918＝48歳：_住友製鋼所がKS鋼の特許を取得するとともに、帝国学士院賞を受ける。

ベルリン条約・1919＝49歳：_大阪住友家の援助で第2部を鉄鋼研究所に改組発展させ、所長に就任。「鐵及び鋼の研究」第1巻刊行。

原敬首相暗殺1921＝51歳：理化学研究所研究員を委嘱される。

水平社結成・1922＝52歳：*鉄鋼研究所を金属材料研究所と改称拡充、引き続き所長として発展に尽力。帝国学士院会員。

護憲三派圧勝1924＝54歳：{金属の研究}創刊。欧米の研究機関を訪問し視察。米国金属学会名誉会員。

治安維持法・1925＝55歳：村上武次郎と協力して、東洋刃物株式会社、

円本時代始・1926＝56歳：茅誠司・増山達雄による「Fe, Ni, Co単結晶の磁気異方性エネルギーの研究」はじめ、その門下は、強磁性体理論の発展に寄与する実験成果や各種合金の状態図作成の成果をあげるとともに、多数の新種特殊性質合金の開発に成功して、基礎研究の重要性を社会に認識させ、

金融恐慌・・・1927＝57歳：後の日本金属工業、

海軍軍縮条約1930＝60歳：_十大発明功労者の一人に選ばれる。

満州事変・・・1931＝61歳：_米国フランクリン協会よりエリオット・クレソンン金牌。東北帝国大学総長に就任。

国際連盟脱退1933＝63歳：金属材料研究所所長を退任。増本量・白川勇記が新KS磁石鋼を発明。_帝国発明協会より第3回恩賜記念章。ゲッティンゲン大学より名誉理学博士号。

二二六事件・1936＝66歳：東北帝国大学在職25年記念祝賀会。増本量・山本達治によりセンダスト、仁科存・増子正によりスーパーパーマロイなど、高透磁率合金を開発。

日中戦争始・1937＝67歳：東北特殊鋼株式会社など、地元企業の創業・育成に尽力するなど、鉄鋼学の工業界ならびに一般社会への普及にも努めた。_日本金属学会を創立して初代会長となり、{日本金属学会誌}創刊。第1回文化勲章。

大政翼賛会・1940＝70歳：古希を記念し、「最新金属学大系」刊行開始。*東北帝国大学を退官。

日米開戦・・・1941＝71歳：

・・・・・・1942＝72歳：

年金+総武装 1944＝74歳：「最新金属学大系」全9巻完結。_金属材料研究所長事務取扱となり、戦時研究を指導、

敗戦・・・1945＝75歳：

新憲法施行・1947＝77歳：_辞任。

三大事件・・・1949＝79歳：仙台市名誉市民。_東京理科大学初代学長になって、

独立回復・・・1951＝81歳：_文化功労者。

自衛隊発足・1954＝84歳：_没した。勲一等旭日大綬章追贈。

「本多光太郎 マテリアルサイエンスの先駆者」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、